

心の窓を全開せよ！

あなたがた自身、互いに愛し合うように、神から教えられているからです

日本聖書協会『聖書 新共同訳』第一テサロニケ4章9節

今年も、もう1ヶ月が過ぎました。

1年の暦の上で最も静かにゆっくりと時間が過ぎていくのは、いま迎えたばかりの2月のように私には思えてなりません。空気は冷たいけれど、どこか地の奥深くから春の振動が感じられ……、まだ冬の真最中だけれども、生活の中に春の色が見え始めている……。

私が今のアパートに移り住んでから二度目の春を迎えようとしています。西角部屋で、南側には農家の大家さんの畑が広がっていて、寒い寒いと言いつつも、畑には次々と新しい命が芽吹いています。

そんなある日の夜のことで。仕事から帰って来たら、南側の2枚の窓ガラスそれぞれにひびが入っていたのです。「風で石でも飛んできたのかしら……」「それとも、アパート周辺に集まるカラスのいたずら？」。そのときの私には、そのひびが大して気になることでもなく、むしろその原因を探る方が面白らしく、すぐに何することでもありませんでした。ところが、しばらく経ってそのことを大家さんに伝えると「ひびは気圧のせいかも知れない。だけど、地震でも起きたら危険だから、すぐ取り替えるように」とのこと。次の日、硝子屋に来てもらいました。

暖房を入れている寒さですから、当然私

の部屋で1枚ずつ硝子を交換するのかと思っていたら、窓枠ごと2枚を店に持ち帰って交換してくるとのこと!! その間、硝子戸があった場所がすっぽりと外に向けて四角く抜けた状態になってしまいました。どんなにか自分が悲惨な状況にさらされるのかと思っていたら……「ああ～、何て素晴らしい眺め！何て気持ちの良い眺め！」外の畑の風景が、まるで1枚の絵画の様に、はっきりとくっきりと私の部屋に広がっているのです。それも、何にも邪魔されないで。

普段、窓を開けていると言っても左右どちらかに硝子戸を重ねている分、風景は半分邪魔されていたのです。「私は、今まで一体何を見ていたのか」「私には、本当に外の風景が見えていたのか」そう思った瞬間、「私は自分を取り巻く人たちのことを今まで本当に見て来ていたのか」「彼等を正しく見ていたのか」と、急に胸が締め付けられたのでした。

そのとき、私に届いた言葉は『心の窓を全開せよ！』。

これによって、初めて相手を正しく見て理解し、相手と本当に出会うことができることを教えられたのでした。

(JUN)



イエスの生涯

【祈りの言葉】

イエスさま、
あなたが祝福してくださる糧によって
私たちの心と体を平安で満たしてください。



人形制作/杉岡広子
<http://www.bibledollministry.com/>

りません。医療と教育にはお金がかかりますが、農家は食べていくのもやっとなので、そのお金がないのです。

Q. 国の方策もまだ充分ではない？

ネパールは観光資源の点では、山にしろ、文化遺産にしろ、世界に冠たるものを持っています。ですからスイスのように観光立国で充分人を世界から集めるだけのものはあるのです。しかし、インフラ整備が出来ていないのです。資本がない、技術がない、鉄道が1つもないというのがあります。トンネルも1つか2つしかなくて、迂回しなくてははいけません。それもたいへんです。ネパールは1/3が平野、1/3が山岳地帯、1/3が丘陵地帯です。平野には道路がありますが、丘陵地帯などにはまだほんのちょっとしか道路がありません。そうすると飛行機を使うのですが、国営の飛行機は国際線が2基あるうち1基が故障していて飛んでいません。国内線も6基あるうち4基が故障しています。チョウジャリに行くにも1週間に1度しか飛ばなくて「来週また来て」といわれることもあります。このように、観光立国となるためのインフラ整備はできていないのです。

(つづく)

で提供するかどうか決めたりします。そこまで話がいかなくて、会計の段階で薬はいりませんと帰ってしまう人もいます。薬があるということと、利用できることは繋がらないのです。また、もらった薬を売ってしまう人もいます。

ですから、医療従事者が直接確認してその場で飲んでもらうということになります。そうすると薬を売ってしまうことはなくなります。それから、日本では薬を紙の袋に入れたりしますが、その紙すらネパールにはないのです。チョウジャリで新聞を取っているのはうちの病院だけです。

薬の飲み方を説明もするのですが、その時は分かったようなそぶりでも実際は理解してなくて、まとめて飲んでしまったり、飲まなかったり、誤った飲み方をしたりしてしまったりします。

Q. 医療保険制度などは？

試みはいろいろあります。キリスト教団体が15〜20年前から地域の保険制度をスタートしています。2700万人のうちほんの少しの試みですが1〜2万人くらいが保険に入っています。それから軍隊は軍隊で保険を持っています。政府の共済というのはありますが、日本という、国民健康保険というようなものはあ

在庫を用意しています。そうでないと患者が来たときに安心して提供できないからです。それでも、2〜3種類、在庫を切らしてしまうことがあるのです。在庫が少なくなったら発注をしなければいのですが、何度アドバイスしても、なかなかうまくいかないのです。棚卸しを頻繁にきちんとすればいいのですが、間があいてしまったり、夜中に患者さんが来て薬を使ったのに、記録から抜けていたり、どこかへ勝手に持って行ってしまったりとか、いろいろな原因があります。

もう1つ薬の問題といえば使いたい薬があっても、患者さんにお金がないので要らないといわれることがあります。そういう時はカウンセラーとよく話し合っただけでお金がないのか見極めて、無料

ネパールワーカー 樋戸健次郎 先生

ナマステ、サンチャイチャ

Namaste Sanchaicha?

※「ナマステ・サンチャイチャ」はいさづの言葉で「元気ですか？」等の意味です。

Q. 患者さんがやっと病院に来て、薬がないってこともあるんですね。

そのようなことがないように、病院スタッフにアドバイスをしています。日本の場合、今は問屋でも1日分の在庫も置いてありません。0.8日分くらいです。病院によって違いはありますが、1〜2日分の在庫はおきません。頼めばすぐに持って来てもらえるからです。

しかし、チョウジャリでは6か月分の



写真提供 JOCS <http://www.jocs.or.jp/jocs/index.html>

毎日 あくしゅ



園庭の花壇には数本の水仙が咲き始め、ほのかな匂いを放っています。寒さのなかで、凛として咲いている水仙やさんかの凛々しさに心惹かれ、私の気持ちまでピーンと引き締まります。

自然界の営みは少しずつ春の気配を感じるようになってきてはいますが、ある冷たい日の朝、園庭を見ると昨日の雨であちらこちらにできていた水たまりにうっすらと氷が張っていることに気がきました。

もうすぐ登園して来る子どもたちが、水たまりが凍っていることに気付いてどうするか？ と、ワクワクしながら、登園して来る子どもたちを迎えるために門に立って待っていました。すると、いつもより早めに登園して来た年長児が、「アーツ!! 凍ってる」と叫びながら水たまりの方に走って行きました。

私は、もしかするとその氷を踏みつぶすのかな？ と思ったのですが、その子はしゃがみ込んで指や手のひらでソーツ!! と氷をなでた後、その凍っている水たまりを大股でまたぎ、またしゃがみ込んで氷をなでた。またぐことを繰り返したのです。何を感じているのかな？ どう思っているのかな？ 何を発見したのかな？ きつと氷が透き通っていたり、白っぽく見えることで氷の厚さの違いなどにも気付いたことでしょうか。そのあとほかの園児が登園して来ると、大事そうに氷を見せたり、踏みつぶしたり投げて割る子どもたちもいて大騒ぎとなりました。

子どもたちが自然の営みの変化に目を向け、心を動かし、科学する姿は真剣そのもので、食い入るような眼差しや見つめる時の姿に心打たれます。

私たち大人も子どもたちの心の動きに寄り添い、感動や感激を共有できる存在でいたいなあと思います。

(園長)

